

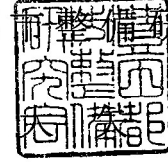
要 望 書

豊田都市整備研究会

令和8年5月13日

豊田市長 太田稔彦 様

豊田都市整備研究会
会長 申



要 望 書

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、豊田市様におきましては、豊田都市整備研究会の活動推進に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、近時の原油価格高騰および国際物流の混乱により、ナフサ価格は直近数年平均比で大幅に上昇しており、これに起因する石油由来製品の価格上昇が建設分野にも広く波及しております。

具体的には、塩化ビニール製品や鋼材類、非鉄金属でも価格上昇が見受けられ、また物流費についても上昇しております。前述の影響に伴い、建設工事全体の原価は総じて上昇しており、事業採算性に深刻な影響を及ぼしております。

加えて、資材供給の遅延も深刻化しており、主要資材の納期は従来より長期化し、工期遅延の主要因となっております。

このような状況において、従来の契約条件下では、受注者に過度な負担が集中し、「品質確保」及び「安全管理」の観点からも看過できない課題となっております。

つきましては、公共工事の適正な履行確保と地域建設業の持続的発展を図るため、以下の事項について強く要望いたします。

記

1. 建設資材及び燃料費の高騰に対応するため、物価スライド条項の適用を適切に行い、実勢価格に即した設計変更を迅速に実施すること。
2. 資材供給遅延等に起因する工期延長については不可抗力として取り扱い、行政処分・違約金等の不利益な措置を課すことなく、柔軟な契約変更を行うこと。
3. 工期延長に伴う費用については、資材価格の上昇分に加え、現場管理費・間接費を含めた適正な費用計上を承認すること。

4. 中小建設事業者の資金繰り悪化及び倒産リスクを回避するため、信用保証料補助制度の拡充等、実効性のある金融支援制度の強化を講じること。

以上